

## 第 25 回ドイツ語教授法ゼミナール開催のお知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大のため延期となりました第 25 回ドイツ語教授法ゼミナールをオンラインにて開催いたします。講師とテーマに変更はありません。多くの皆様の参加を心よりお待ちしております。

総合テーマ：Geschichte im Deutsch-als-Fremdsprache-Unterricht – Spracherwerb und  
Horizontenerweiterung

日 程：2021 年 3 月 10 日（水）～ 3 月 13 日（土）

招待講師：Uwe Koreik 教授（Fakultät für Linguistik und Literaturwissenschaft, Universität  
Bielefeld）

[https://www.uni-bielefeld.de/lili/studium/faecher/daf/personen/Koreik\\_Uwe/index.html](https://www.uni-bielefeld.de/lili/studium/faecher/daf/personen/Koreik_Uwe/index.html)

開催方法：Koreik 教授の講演は Moodle にてオンデマンド配信をします。3 月 10 日まで  
にご視聴ください。ゼミナール期間中は、日本時間の 16 時から Zoom を用い  
たビデオ会議を行います。詳細はプログラムをご覧ください。

参加費：無料（日本独文学会非会員の方は 1,500 円・非会員学生は無料）

定員：40 名（申込先着順）

※最終的な参加決定は、理事会にて承認されます。

※定員以上の応募があった場合は、JGG 会員を優先とし、そのうえで申込  
先着順といたします。

参加申込締切：2020 年 12 月 31 日

参加申込：<https://www.daf-seminar.jp> よりお申し込みください。（2020 年 3 月に申し  
込んだ方もあらためてお申し込みをお願いいたします）

第 25 回ドイツ語教授法ゼミナールのテーマは、「ドイツ語の授業における歴史の活用—  
言語習得と視野の拡大」です。

ランデスクンデ（いまだに使われている概念）ないし文化研究はさまざまな分野と関わり  
があります。言語教育において、どの程度文化と関係した情報を伝達すべきか、ある  
いは通常の言語授業における討論を通じて、十分な知識を得ることができるのではないか  
という議論は結論が出ていません。しかしながら、目的言語の文化圏に関する情報も言語  
習得に含まれるという立場をとるならば、「歴史」は言語教育の主要なテーマとなります。  
歴史を見れば、現在起こっている多くの現象を理解することができます。その際重要とな  
るのは、データや事実だけではなく、文化的相違の気づきにいたるような事実関係やその  
背景の理解でしょう。それによって高度な自己省察も引き起こされるはずです。そのため  
には、授業を受ける側もする側も興味を持てるような、議論や疑問が刺激されるような、  
そして理想的には自分でさらに研究を深めていくことにつながるようなテーマ選びや、学  
習者に合わせて教材化できるスキルが重要です。

講義とワークショップでは、以下のテーマを取り上げます。

- ・歴史とドイツ語教育
- ・歴史と記憶
- ・歴史と環境

また、授業の導入として、学習者の言語レベルに合わせた文学テキストや映画の一部を利用するのも有効な手段です。

適切に選び出され、さまざまなメディアを用いて体系的に教材化された歴史のテーマは、初級レベルの段階においても授業を活発にします。それは、言語習得を促進するだけでなく、学習者の視野を広げることに貢献します。

招待講師には Bielefeld 大学の Uwe Koreik 教授をお招きします。過去にはダラム（イギリス）、ソフィア（ブルガリア）、プラハ（チェコ）、ハノーファーの大学にて教鞭を執られました。また、2009 年からは Türkisch-Deutsche Universität (TDU) にて副学長の任に就いておられます。

Koreik 教授のご専門はドイツ語教育におけるランデスクンデ／文化研究、ドイツ語教育研究史と研究体系、テスト比較、映画のドイツ語教育への活用、言語政策です。

#### 第 25 回ドイツ語教授法ゼミナールのプログラム

Uhrzeit	Mittwoch (10. März)	Donnerstag (11. März)	Freitag (12. März)	Samstag (13. März)
16	Begrüßung und Kennenlernen	Präsentation der Ergebnisse der Gruppenarbeit zu Thema 1	Präsentation der Ergebnisse der Gruppenarbeit zu Thema 2	Präsentation der Ergebnisse der Gruppenarbeit zu Thema 3
17	Diskussion <b>Thema 1:</b> „Geschichte und DaF“	Diskussion <b>Thema 2:</b> „Geschichte und Erinnerung“	Diskussion <b>Thema 3:</b> „Geschichte und Umwelt“	Diskussion der Teilnehmendenvorträge?
18	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>
ab 19	Gruppenarbeit Thema 1	Vortrag Gast aus China Gruppenarbeit Thema 2	Gruppenarbeit Thema 3	Abschlussdiskussion

・オンデマンド配信動画は事前に視聴することができます。3月10日のゼミナール開始時までにご覧ください。

・ゼミナール期間中の Zoom を用いたライブ会議は、日本時間の 16 時から開始します。ゼミナールで使用する Moodle に必要な情報と Zoom ID はゼミナール開始までにお送りします。

参加者が互いに自らの体験について意見を交換し合い、自身の授業実践を見直すきっかけを促すこともまたゼミナールの目的です。歴史に関する専門知識は必ずしも必要ありませんので、どの研究分野の方にもご参加いただけます。また、教授法ゼミナールに参加したことのない皆様も是非お申し込みください。

ゼミナール中に、テーマに関連する研究発表(ドイツ語で最大 20 分)を希望される方は、参加申し込みの際に「研究発表希望」と記し、ドイツ語での発表題目と発表要旨(250 語程度)を添付してください。なお、発表者の最終決定は実行委員会にご一任ください。

発表者は発表内容を録画し、他参加者が視聴できるようゼミナール開始時までに動画を Moodle へアップロードして下さい。各発表に関するディスカッションは、ゼミナール最終日に Zoom を用い行います。

#### 第 25 回ドイツ語教授法ゼミナール実行委員会

Ralph Degen (実行委員長)

草本晶, Cezar Constantinescu, Frank Nickel, Olga Czyzak, 村元麻衣, 武井佑介, Manuela Sato-Prinz (DAAD)

お問い合わせ先 : daf2020-open\_AT\_jgg.jp (\_AT\_ には @を入れて下さい)

#### 主要著書・論文

Koreik, Uwe (2012): Deutsche Geschichte im DaF-Unterricht – Zur Arbeit mit historischen Quellen. In: Hieronimus, Marc (Hrsg.): *Historische Quellen im DaF-Unterricht*. Göttingen, 1-14 (= Materialien Deutsch als Fremdsprache, Bd. 86).

Koreik, Uwe; Jörg Roche (2014): Zum Konzept der ‚Erinnerungsorte‘ in der Landeskunde für Deutsch als Fremdsprache - eine Einführung. In: Roche, Jörg; Röhling, Jürgen (Hrsg.) *Erinnerungsorte und Erinnerungskulturen – Konzepte und Perspektiven für die Sprach- und Kulturvermittlung*. Baltmannsweiler: Schneider, 9-26.

Koreik, Uwe (2015): „Der kleine Nazi“ – ein Kurzfilm als Königsweg zur Kultur- und Sprachvermittlung? In: Hoffmann, Sabine/Stork, Antje (Hrsg.): *Lernerorientierte Fremdsprachenforschung und -didaktik*. Festschrift für Frank G. Königs zum 60. Geburtstag. Tübingen: Narr, 225-234.

Koreik, Uwe (2015): Landeskunde, Geschichte und ‚Erinnerungsorte‘ im Fremdsprachenunterricht. In: Badstübner-Kizik, Camilla / Hille, Almut (Hrsg.) *Kulturelles Gedächtnis und Erinnerungsorte im hochschuldidaktischen Kontext*. Frankfurt am Main u.a.: Lang, 15-36.

Koreik, Uwe (2018): Das deutsche „Wirtschaftswunder“. Mythos, Legende oder ein Erinnerungsort – Die Relevanz für Deutsch als Fremd- und Zweitsprache? In: Schiedermaier, Simone (Hrsg.): *Deutsch als Fremd- und Zweitsprache & Kulturwissenschaft, Zugänge zu sozialen Wirklichkeiten*. München: iudicium, 27-46.